

令和8年度 松戸市立常盤平中学校 学習の指針(シラバス)

教科	保健体育	学年	1年
----	------	----	----

1 学習の目的

体育分野

- 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。

保健分野

- 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- 健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	体育分野 体づくり運動	・体づくり運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などを理解し、目的に適した運動を身に付け、組み合わせることができるようにする。
	器械運動(マット運動)	・マット運動について、技ができる楽しさや喜びを味わい、器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、技をよりよく行うことができるようにする。
	水泳	・水泳について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができるようにする。
	体育理論 運動やスポーツの多様性	・運動やスポーツの多様性について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、理解を深める。
2 学期	体育分野 陸上(走り幅跳び)	・走り幅跳びについて、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な動きや効率のよい動きを身に付けることができるようにする。
	武道(剣道)	・剣道について、技ができる楽しさや喜びを味わい、武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて簡易な攻防を展開することができるようにする。
	陸上(長距離走)	・長距離走について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運

	<p>保健分野 健康な生活と病気の予防</p>	<p>動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な動きや効率のよい動きを身に付けることができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、理解を深める。
<p>3 学 期</p>	<p>体育分野 ダンス</p> <p>器械運動(鉄棒運動)</p> <p>保健分野 心身の発達と心の健康</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンスについて、感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの特性や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、イメージを捉えた表現や踊りを通じた交流をすることができるようにする。 ・鉄棒運動について、技ができる楽しさや喜びを味わい、器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、技をよりよく行うことができるようにする。 ・心身の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、理解を深める。

3 評価

令和8年度 保健体育科 評価基準

観点	目指す生徒の姿	評価材料	評価基準	
			知識	技能
知識・技能	各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身につけた生徒。	授業中の取り組み	A: 運動の特性に応じた技能や健康・安全について十分理解して、授業に取り組んでいる。 B: 運動の特性に応じた技能及び健康・安全についてある程度理解して、授業に取り組んでいる。 C: 運動の特性に応じた技能及び健康・安全についてあまり理解していないが、仲間の支援を受けながら取り組んでいる。	A: 運動の特性に応じた技能を習得するとともに健康・安全についても十分理解し、練習やゲームに活かすことができている。 B: 運動の特性に応じた技能の習得、健康・安全についてある程度(大体系)身に付けて、練習やゲームができている。 C: 運動の特性に応じた技能の習得や健康・安全について十分身につけてはいないが、仲間の支援を受けながら取り組むことができている。
		単元テスト(知識) 技能テスト(技能)	A: 点数が8割以上(運動の仕方や技能のポイントを十分理解している。) B: 点数が5割以上(運動の仕方がある程度理解している。) C: 点数が5割以下(運動の仕方をあまり理解していない。)	A: 学習したことを技能として十分に習得することができている。 B: 学習したことを技能としてある程度習得することができている。 C: 学習したことを技能として少し習得することができている。
		振り返り(動画振返等)	A: 学習した知識を十分理解している。 B: 学習した知識をある程度理解している。 C: 学習した知識をあまり理解していない。	A: 学習した技能を十分習得し、練習やゲームに活かすことができている。 B: 学習した技能をある程度習得し、練習やゲームをすることができている。 C: あまり習得していないが仲間の支援を受けゲームをすることができている。
思考・判断・表現	運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる生徒。	授業中の取り組み	A: 自他の課題に対して解決策を具体的に考え、実践するとともに新たな取り組みを工夫・改善し、仲間に伝えている。 B: 自他の課題に対して解決策を具体的に考え、実践している。 C: 自他の課題に対して解決策を仲間の支援を受けながら考え、取り組んでいる。	
		学習カード等の提出物	A: 自他の課題に対して解決策が具体的に記入されており、新たなアイデアなどを生み出すそうとしている。 B: 自他の課題に対して解決策を具体的に記入している。 C: 自他の課題に対して解決策を仲間の支援を受けながら考え、記入している。	
		単元テスト(動画振返等)	A: 点数が8割以上(練習やゲームから自他の課題を発見し、課題に応じた練習方法を工夫・改善するとともに仲間に伝えている。) B: 点数が5割以上(練習やゲームから自他の課題を発見し、課題に応じた練習方法を考え(提示されたものを選択し)、実践している。) C: 点数が5割以下(練習やゲームでの自他課題を仲間の支援を受けながら確認し、仲間とともに実践している。)	
主体的に学ぶ態度	生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を送ることができる生徒。	授業中の取り組み、態度	A: 健康安全に留意し、授業に主体的に取り組むと共に、誰とでも分け隔てなく公正・公平な態度で接し、模範となり授業を積極的にリードしている。 B: 健康安全に留意し、授業に意欲的(積極的)に取り組むとともに、公正・公平な態度で取り組んでいる。 C: 健康安全に留意し、授業に意欲的(一生懸命)に取り組んでいる。	
		ワーク等の提出物(振り返り)	A: ワーク等の各項目に自分の考えを具体的にまとめるとともに、他者のアイデア等も記述している。 B: ワーク等の各項目に必要な事項を記述している。 C: ワーク等の各項目に記述していない。(仲間の支援を受けながら記入している。)	
		授業への参加状況	A: 授業に主体的に取り組んでいる。 B: 授業に積極的に取り組んでいる。 C: 他のサポートを受けながら授業に取り組んでいる。	

※ I 評価 A:「十分満足できる」状況と判断されるもの B:「おおむね満足できる」状況と判断されるもの C:「努力を要する」状況と判断されるもの

4 「確かな学力」のためのアドバイス

1. 保健体育科の学習について

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指します。

2. 授業のきまり

授業前

①下のジャージは教室で脱いで自分のいすの上にたたんで置きましょう。

②移動は素早く、2分前には運動が始められるようにしましょう。

見学について

怪我をしている場合や、体調不良の場合は家庭で相談し、見学用紙に記入の上、教科担当に見せましょう。長期の見学になる場合は、教科担当と相談しましょう。また、見学であっても話し合いに積極的に参加したり、活動に協力したりすることで技能以外の評価には繋げることができます。

服装について

基本的にはハーフパンツ、体操服としますが寒い場合はジャージの着用を許可します。主運動時のジャージの着脱については運動の内容によって、教科担当から指示を出すことがあります。

授業で使う道具

保健の教科書、ワーク、体育ファイル(体育ノート)、実技書は学級で保管してください。(体育バックにて) 帽子の着用、水筒持参は熱中症対策のために推奨します。

水泳授業の際は水着、タオルが必要となります。

3. 授業システム

①ペア学習やチーム学習、グループ学習を使い分けて、自分の課題を明らかにしましょう。

②AARサイクル学習を用いて、予測を見出し、課題解決に繋げましょう。

③新しい準備体操を用いて、自分の体力を知り、体力の向上に繋げましょう。

4. 家庭学習

保健体育の学習は、生涯にわたって運動に親しみ、明るく豊かな生活を営むためのものです。体育分野、保健分野で学んだことを実生活で生かすことを大切にしましょう。

令和8年度 松戸市立常盤平中学校 学習の指針(シラバス)

教科	保健体育	学年	2年
----	------	----	----

1 学習の目的

<p>体育分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ■運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 ■運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 ■運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。 <p>保健分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ■個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 ■健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 ■生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。
--

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	体育分野 体づくり運動	・体づくり運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などを理解し、目的に適した運動を身に付け、組み合わせることができるようにする。
	球技(バスケットボール)	・バスケットボールについて、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開することができるようにする。
	水泳	・水泳について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、泳法を身に付けることができるようにする。
	・ダンス	・ダンスについて、感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの特性や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、イメージを捉えた表現や踊りを通じた交流をすることができるようにする。
	体育理論 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、理解を深める。
2 学	体育分野 球技(ソフトボール)	・ソフトボールについて、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技

<p>期</p>	<p>球技(バドミントン)</p> <p>陸上(長距離走)</p> <p>保健分野 健康な生活と病気の予防</p>	<p>術の名称や行い方, 体力の高め方, 運動観察の方法などを理解するとともに, 作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バドミントンについて, 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい, 技術の名称や行い方, 体力の高め方, 運動観察の方法などを理解するとともに, 作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 ・長距離走について, 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい, 陸上競技の特性や成り立ち, 技術の名称や行い方, その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに, 基本的な動きや効率のよい動きを身に付けることができるようにする。 ・健康な生活と疾病の予防について, 課題を発見し, その解決を目指した活動を通して, 理解を深める。
<p>3 学 期</p>	<p>体育分野 球技(ハンドボール)</p> <p>保健分野 傷害の防止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドボールについて, 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい, 球技の特性や成り立ち, 技術の名称や行い方, その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに, 基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開することができるようにする。 ・傷害の防止について, 課題を発見し, その解決を目指した活動を通して, 理解を深める。

3 評価

令和8年度 保健体育科 評価基準

観点	目指す生徒の姿	評価材料	評価基準	
			知識	技能
知識・技能	各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身につけた生徒。	授業中の取り組み	A: 運動の特性に応じた技能や健康・安全について十分理解して、授業に取り組んでいる。 B: 運動の特性に応じた技能及び健康・安全についてある程度理解して、授業に取り組んでいる。 C: 運動の特性に応じた技能及び健康・安全についてあまり理解していないが、仲間の支援を受けながら取り組んでいる。	A: 運動の特性に応じた技能を習得するとともに健康・安全についても十分理解し、練習やゲームに活かすことができている。 B: 運動の特性に応じた技能の習得、健康・安全についてある程度(大体)身に付けて、練習やゲームができている。 C: 運動の特性に応じた技能の習得や健康・安全について十分身につけていないが、仲間の支援を受けながら取り組むことができている。
		単元テスト(知識) 技能テスト(技能)	A: 点数が8割以上(運動の仕方や技能のポイントを十分理解している。) B: 点数が5割以上(運動の仕方がある程度理解している。) C: 点数が5割以下(運動の仕方をあまり理解していない。)	A: 学習したことを技能として十分に習得することができている。 B: 学習したことを技能としてある程度習得することができている。 C: 学習したことを技能として少し習得することができている。
		振り返り(動画振返等)	A: 学習した知識を十分理解している。 B: 学習した知識をある程度理解している。 C: 学習した知識をあまり理解していない。	A: 学習した技能を十分習得し、練習やゲームに活かすことができている。 B: 学習した技能をある程度習得し、練習やゲームをすることができている。 C: あまり習得していないが仲間の支援を受けゲームをすることができている。
思考・判断・表現	運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる生徒。	授業中の取り組み	A: 自他の課題に対して解決策を具体的に考え、実践するとともに新たな取り組みを工夫・改善し、仲間に伝えている。 B: 自他の課題に対して解決策を具体的に考え、実践している。 C: 自他の課題に対して解決策を仲間の支援を受けながら考え、取り組んでいる。	
		学習カード等の提出物	A: 自他の課題に対して解決策が具体的に記入されており、新たなアイデアなどを生み出すそうとしている。 B: 自他の課題に対して解決策を具体的に記入している。 C: 自他の課題に対して解決策を仲間の支援を受けながら考え、記入している。	
		単元テスト(動画振返等)	A: 点数が8割以上(練習やゲームから自他の課題を発見し、課題に応じた練習方法を工夫・改善するとともに仲間に伝えている。) B: 点数が5割以上(練習やゲームから自他の課題を発見し、課題に応じた練習方法を考え(提示されたものを選択し)、実践している。) C: 点数が5割以下(練習やゲームでの自他課題を仲間の支援を受けながら確認し、仲間とともに実践している。)	
主体的に学ぶ態度	生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を送ることができる生徒。	授業中の取り組み、態度	A: 健康安全に留意し、授業に主体的に取り組むと共に、誰とでも分け隔てなく公正・公平な態度で接し、模範となり授業を積極的にリードしている。 B: 健康安全に留意し、授業に意欲的(積極的)に取り組むとともに、公正・公平な態度で取り組んでいる。 C: 健康安全に留意し、授業に意欲的(一生懸命)に取り組んでいる。	
		ワーク等の提出物(振り返り)	A: ワーク等の各項目に自分の考えを具体的にまとめるとともに、他者のアイデア等も記述している。 B: ワーク等の各項目に必要な事項を記述している。 C: ワーク等の各項目に記述していない。(仲間の支援を受けながら記入している。)	
		授業への参加状況	A: 授業に主体的に取り組んでいる。 B: 授業に積極的に取り組んでいる。 C: 他のサポートを受けながら授業に取り組んでいる。	

※ I 評価 A:「十分満足できる」状況と判断されるもの B:「おおむね満足できる」状況と判断されるもの C:「努力を要する」状況と判断されるもの

4 「確かな学力」のためのアドバイス

5. 保健体育科の学習について

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指します。

6. 授業のきまり

授業前

①下のジャージは教室で脱いで自分のいすの上にたたんで置きましょう。

②移動は素早く、2分前には運動が始められるようにしましょう。

見学について

怪我をしている場合や、体調不良の場合は家庭で相談し、見学用紙に記入の上、教科担当に見せましょう。長期の見学になる場合は、教科担当と相談しましょう。また、見学であっても話し合いに積極的に参加したり、活動に協力したりすることで技能以外の評価には繋げることができます。

服装について

基本的にはハーフパンツ、体操服としますが寒い場合はジャージの着用を許可します。主運動時のジャージの着脱については運動の内容によって、教科担当から指示を出すことがあります。

授業で使う道具

保健の教科書、ワーク、体育ファイル(体育ノート)、実技書は学級で保管してください。(体育バックにて) 帽子の着用、水筒持参は熱中症対策のために推奨します。

水泳授業の際は水着、タオルが必要となります。

7. 授業システム

①ペア学習やチーム学習、グループ学習を使い分けて、自分の課題を明らかにしましょう。

②AARサイクル学習を用いて、予測を見出し、課題解決に繋げましょう。

③新しい準備体操を用いて、自分の体力を知り、体力の向上に繋げましょう。

8. 家庭学習

保健体育の学習は、生涯にわたって運動に親しみ、明るく豊かな生活を営むためのものです。体育分野、保健分野で学んだことを実生活で生かすことを大切にしましょう。

令和8年度 松戸市立常盤平中学校 学習の指針(シラバス)

教科	保健体育	学年	3年
----	------	----	----

1 学習の目的

<p>体育分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ■運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 ■運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 ■運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。 <p>保健分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ■個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 ■健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 ■生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。
--

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
1 学 期	体育分野 体づくり運動	・体づくり運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができるようにする。
	球技(ソフトボール)	・ソフトボールについて、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。
	球技(サッカー)	・サッカーについて、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開することができるようにする。
	体育理論 文化としてのスポーツの意義	・文化としてのスポーツの意義について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、理解を深める。
2 学 期	体育分野 球技(バレーボール)	・バレーボールについて、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開することができるようにする。

	<p>陸上(長距離走)</p> <p>球技(バスケットボール)</p> <p>保健分野 健康な生活と病気の予防</p> <p>健康と環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長距離走について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な動きや効率のよい動きを身に付けることができるようにする。 ・バスケットボールについて、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開することができるようにする。 ・健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、理解を深める。 ・健康と環境について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、理解を深める。
<p>3 学 期</p>	<p>体育分野 球技(バドミントン)</p> <p>球技(卓球)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バドミントンについて、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 ・卓球について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。

3 評価

令和8年度 保健体育科 評価基準

観点	目指す生徒の姿	評価材料	評価基準	
			知識	技能
知識・技能	各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身につけた生徒。	授業中の取り組み	A: 運動の特性に応じた技能や健康・安全について十分理解して、授業に取り組んでいる。 B: 運動の特性に応じた技能及び健康・安全についてある程度理解して、授業に取り組んでいる。 C: 運動の特性に応じた技能及び健康・安全についてあまり理解していないが、仲間の支援を受けながら取り組んでいる。	A: 運動の特性に応じた技能を習得するとともに健康・安全についても十分理解し、練習やゲームに活かすことができている。 B: 運動の特性に応じた技能の習得、健康・安全についてある程度(大体)身に付けて、練習やゲームができている。 C: 運動の特性に応じた技能の習得や健康・安全について十分身につけていないが、仲間の支援を受けながら取り組むことができている。
		単元テスト(知識) 技能テスト(技能)	A: 点数が8割以上(運動の仕方や技能のポイントを十分理解している。) B: 点数が5割以上(運動の仕方がある程度理解している。) C: 点数が5割以下(運動の仕方をあまり理解していない。)	A: 学習したことを技能として十分に習得することができている。 B: 学習したことを技能としてある程度習得することができている。 C: 学習したことを技能として少し習得することができている。
		振り返り(動画振返等)	A: 学習した知識を十分理解している。 B: 学習した知識をある程度理解している。 C: 学習した知識をあまり理解していない。	A: 学習した技能を十分習得し、練習やゲームに活かすことができている。 B: 学習した技能をある程度習得し、練習やゲームをすることができている。 C: あまり習得していないが仲間の支援を受けゲームをすることができている。
思考・判断・表現	運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる生徒。	授業中の取り組み	A: 自他の課題に対して解決策を具体的に考え、実践するとともに新たな取り組みを工夫・改善し、仲間に伝えている。 B: 自他の課題に対して解決策を具体的に考え、実践している。 C: 自他の課題に対して解決策を仲間の支援を受けながら考え、取り組んでいる。	
		学習カード等の提出物	A: 自他の課題に対して解決策が具体的に記入されており、新たなアイデアなどを生み出すそうとしている。 B: 自他の課題に対して解決策を具体的に記入している。 C: 自他の課題に対して解決策を仲間の支援を受けながら考え、記入している。	
		単元テスト(動画振返等)	A: 点数が8割以上(練習やゲームから自他の課題を発見し、課題に応じた練習方法を工夫・改善するとともに仲間に伝えている。) B: 点数が5割以上(練習やゲームから自他の課題を発見し、課題に応じた練習方法を考え(提示されたものを選択し)、実践している。) C: 点数が5割以下(練習やゲームでの自他課題を仲間の支援を受けながら確認し、仲間とともに実践している。)	
主体的に学ぶ態度	生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を送ることができる生徒。	授業中の取り組み、態度	A: 健康安全に留意し、授業に主体的に取り組むと共に、誰とでも分け隔てなく公正・公平な態度で接し、模範となり授業を積極的にリードしている。 B: 健康安全に留意し、授業に意欲的(積極的)に取り組むとともに、公正・公平な態度で取り組んでいる。 C: 健康安全に留意し、授業に意欲的(一生懸命)に取り組んでいる。	
		ワーク等の提出物(振り返り)	A: ワーク等の各項目に自分の考えを具体的にまとめるとともに、他者のアイデア等も記述している。 B: ワーク等の各項目に必要な事項を記述している。 C: ワーク等の各項目に記述していない。(仲間の支援を受けながら記入している。)	
		授業への参加状況	A: 授業に主体的に取り組んでいる。 B: 授業に積極的に取り組んでいる。 C: 他のサポートを受けながら授業に取り組んでいる。	

※ I 評価 A:「十分満足できる」状況と判断されるもの B:「おおむね満足できる」状況と判断されるもの C:「努力を要する」状況と判断されるもの

4 「確かな学力」のためのアドバイス

9. 保健体育科の学習について

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指します。

10. 授業のきまり

授業前

- ①下のジャージは教室で脱いで自分のいすの上にたたんで置きましょう。
- ②移動は素早く、2分前には運動が始められるようにしましょう。

見学について

怪我をしている場合や、体調不良の場合は家庭で相談し、見学用紙に記入の上、教科担当に見せましょう。長期の見学になる場合は、教科担当と相談しましょう。また、見学であっても話し合いに積極的に参加したり、活動に協力したりすることで技能以外の評価には繋げることができます。

服装について

基本的にはハーフパンツ、体操服としますが寒い場合はジャージの着用を許可します。主運動時のジャージの着脱については運動の内容によって、教科担当から指示を出すことがあります。

授業で使う道具

保健の教科書、ワーク、体育ファイル(体育ノート)、実技書は学級で保管してください。(体育バックにて) 帽子の着用、水筒持参は熱中症対策のために推奨します。水泳授業の際は水着、タオルが必要となります。

11. 授業システム

- ①ペア学習やチーム学習、グループ学習を使い分けて、自分の課題を明らかにしましょう。
- ②AARサイクル学習を用いて、予測を見出し、課題解決に繋げましょう。
- ③新しい準備体操を用いて、自分の体力を知り、体力の向上に繋げましょう。

12. 家庭学習

保健体育の学習は、生涯にわたって運動に親しみ、明るく豊かな生活を営むためのものです。体育分野、保健分野で学んだことを実生活で生かすことを大切にしましょう。